

## 「国際人をめざす会」創立20周年を祝して

創立20周年、まことにおめでとうございます。

世界に羽ばたくグローバルな人材を育てたいという熱い思いで、この事業を長年続けて来られた皆様に対しまして、心からの敬意と感謝の念を抱いております。ほんとうにありがとうございます。

本校では、毎年中学校に向かう卒業前の子どもたちに“将来への夢と希望”というテーマで講演をお願いしてきました。

子どもたちが、社会に出て行く2030年代は、グローバル化・情報化がさらに進み、新しい職業が生まれていたり、反対に現在ある職業がなくなったりしているとよくいわれています。そのような時代に向かう子どもたちに向かつての、講師のお話は、具体例を交えて大変にわかりやすく、努力すれば、“夢や希望”が実現できる可能性が拓けていることを抱かせるものでした。

- ・ 中学校では自分を知るために、自分で考える勉強が始まる。自分の考えを巡らしていく度に自分らしさを身につけていくことになる。
- ・ 違うことに意味がある。自分と違う意見に耳を傾け、自分も考えを発信しみんなで結論を見出していく力をつけよう。英語は「度胸と慣れ」である。
- ・ 人は何をやるにしても一人ではできない。自分を助けてくれる人がいて初めてできる、できたと考えなくてはいけない。
- ・ 世界には、自分を必要とする人や場所が必ずある。
- ・ 「どんな職業に就くか」というより「どんな人になりたいか」をいつも考えることである。“爽やかで優しく、逃げず諦めない”姿を追い求めたい。

“真の国際人”とは、人としての成長をしっかりと重ねた先にあることを教えていただきました。これはだれもが努力できることであり、そのことが子どもたちや教職員への温かくて力強いエールとなっていることに気づきました。

将来を担う子ども達のために、今後もどうぞよろしく願いいたします。

「国際人をめざす会」の会員の皆様のご健勝と、会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

横浜市立矢部小学校  
前校長 平川 一博